

令和3年度 卒業生（歯学部）就職先へのアンケート調査結果について

1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和2年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 令和2年度卒業生が臨床研修歯科医として従事している医療機関等
(調査対象数：12)

調査期間 令和3年8月16日(月)～9月17日(金)

実施方法 インターネット(Google Form)を利用したWebアンケート

質問内容 ①学部ごとの学位授与方針(DP)に対する本学卒業生の実態について
②本学の教育に求める内容について

3. 結果

回収率 41.7% (5/12)

協力機関 秋田大学医学部附属病院、北海道大学病院、鶴見大学医学部附属病院、JCHO 船橋中央病院、東北大学病院

詳細は別紙の通り。

4. 総括

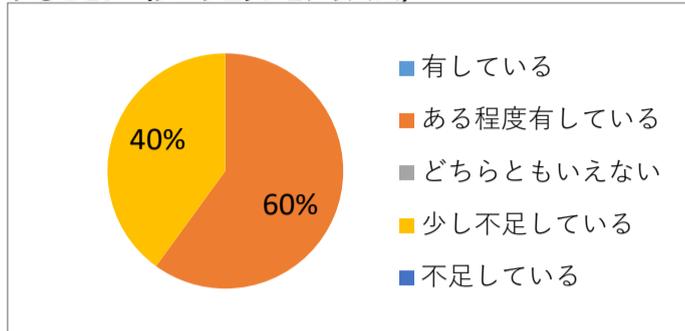
・ディプロマ・ポリシーの達成率は肯定的な評価が過半数を占めるが、「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「高水準の診療能力」に対して否定的な回答も見られる。肯定的な評価が最も少なかったのは「国際貢献への資質」であったが、評価が難しかった可能性がある。

・本学の教育に求めるものとして、「汎用的知識・技能」「コミュニケーション能力」「倫理観」「協調性」への要望が多い。

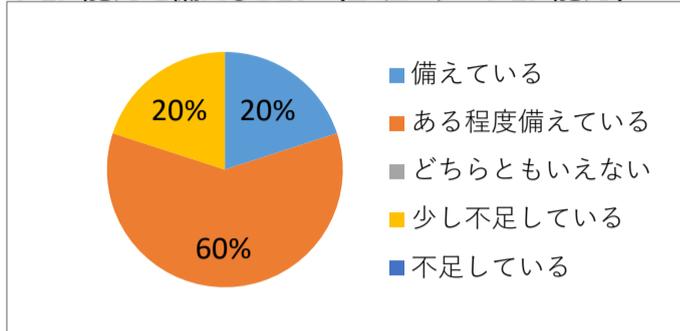
歯学部

Q 1. 岩手医科大学歯学部では、以下の9つの資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関で研修した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

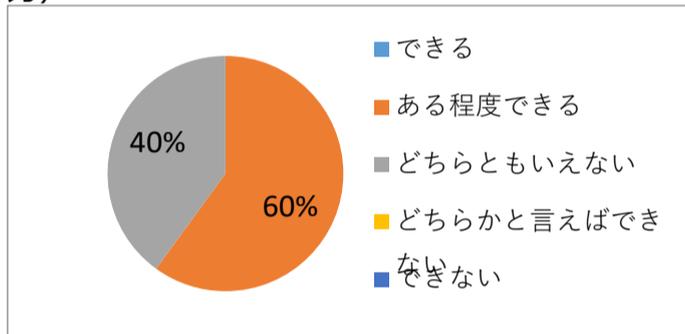
歯科医師として患者や地域住民の健康と生命を守るという責務を理解し、高度な専門性と豊かな人間性と倫理観を有すること。(プロフェSSIONナリズム)



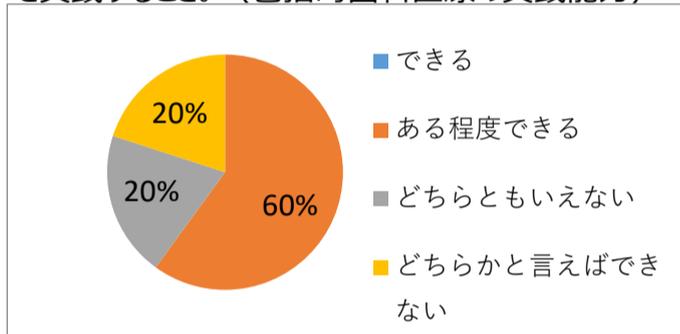
患者・家族に歯科医療の内容をわかりやすく伝え、彼らの気持ちに配慮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を備えること。(コミュニケーション能力)



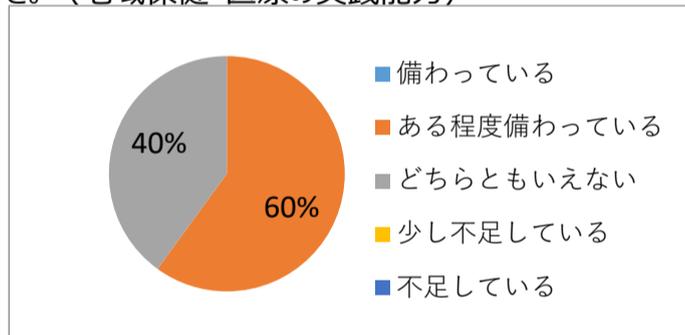
医療チームの一員として、相手の立場を尊重しお互いの協力のもとに医療を円滑に実践すること。(チーム医療の実践能力)



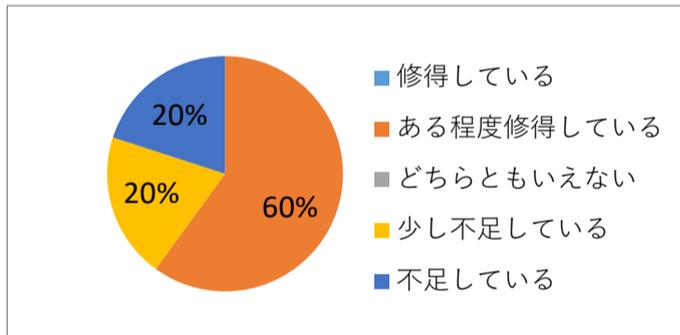
科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践すること。(包括的歯科医療の実践能力)



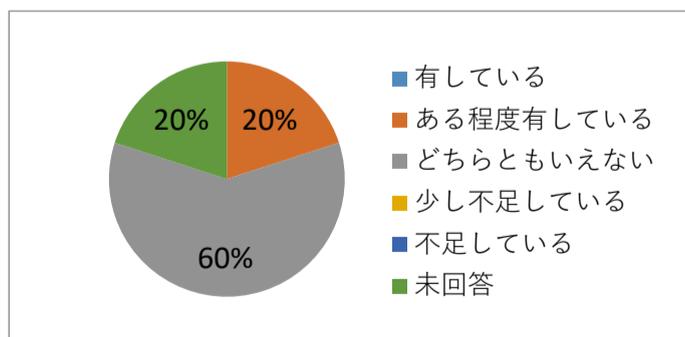
地域の保健、医療、福祉、介護の現状や問題点を把握して、地域医療の向上に取り組む態度・技能が備わっていること。(地域保健・医療の実践能力)



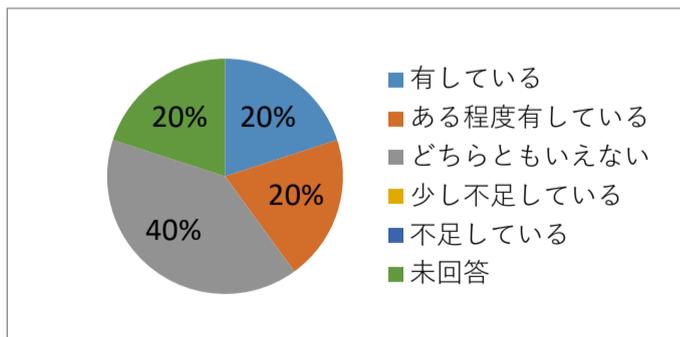
歯科医師として求められる基本的診療技術を高い水準で修得していること。(高水準の診療能力)



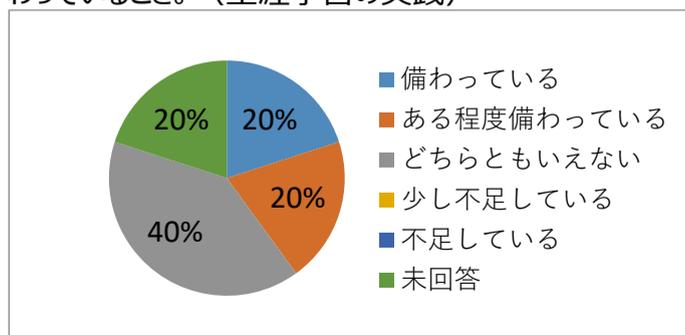
国際的な保健・医療活動に貢献するための態度と基本的な語学能力を有すること。(国際貢献への資質)



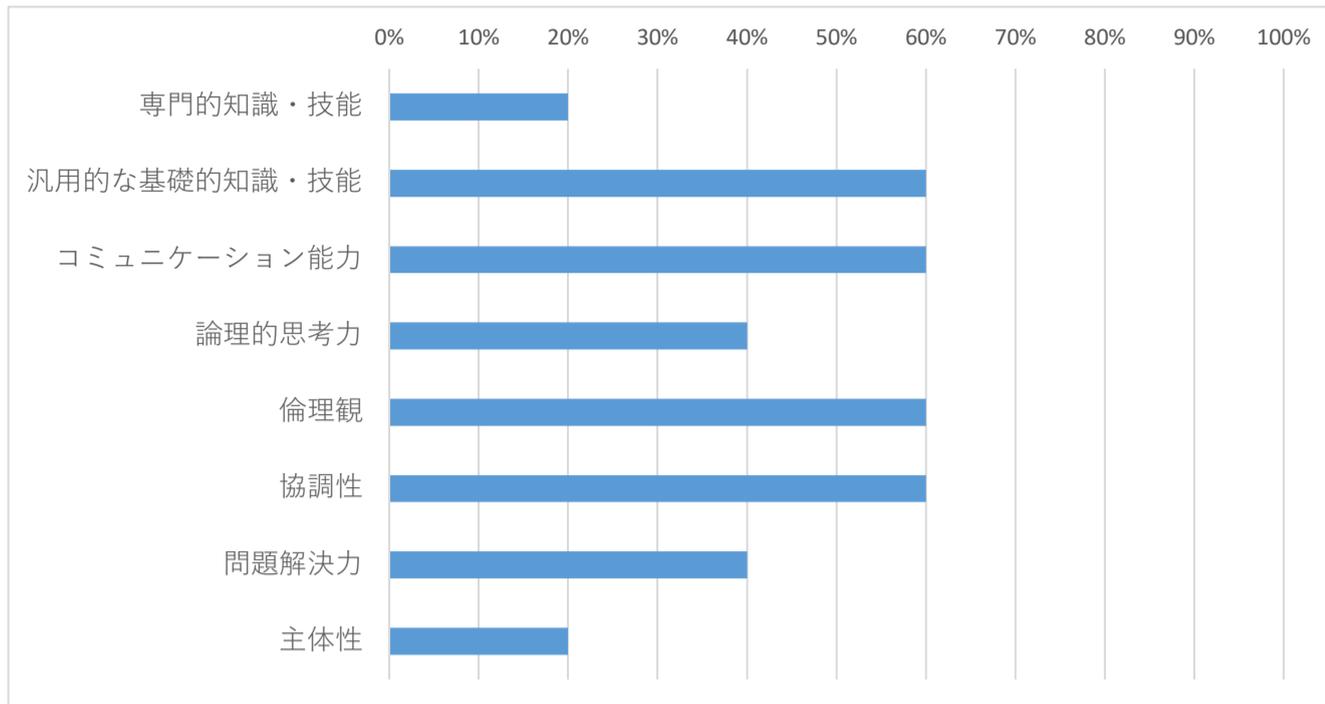
歯科医学や医療の発展に寄与する研究を遂行するために必要な知識と技能を有すること。(研究マインドの保持)



生涯にわたり歯科医療に対する自己研鑽を続ける態度が備わっていること。(生涯学習の実践)



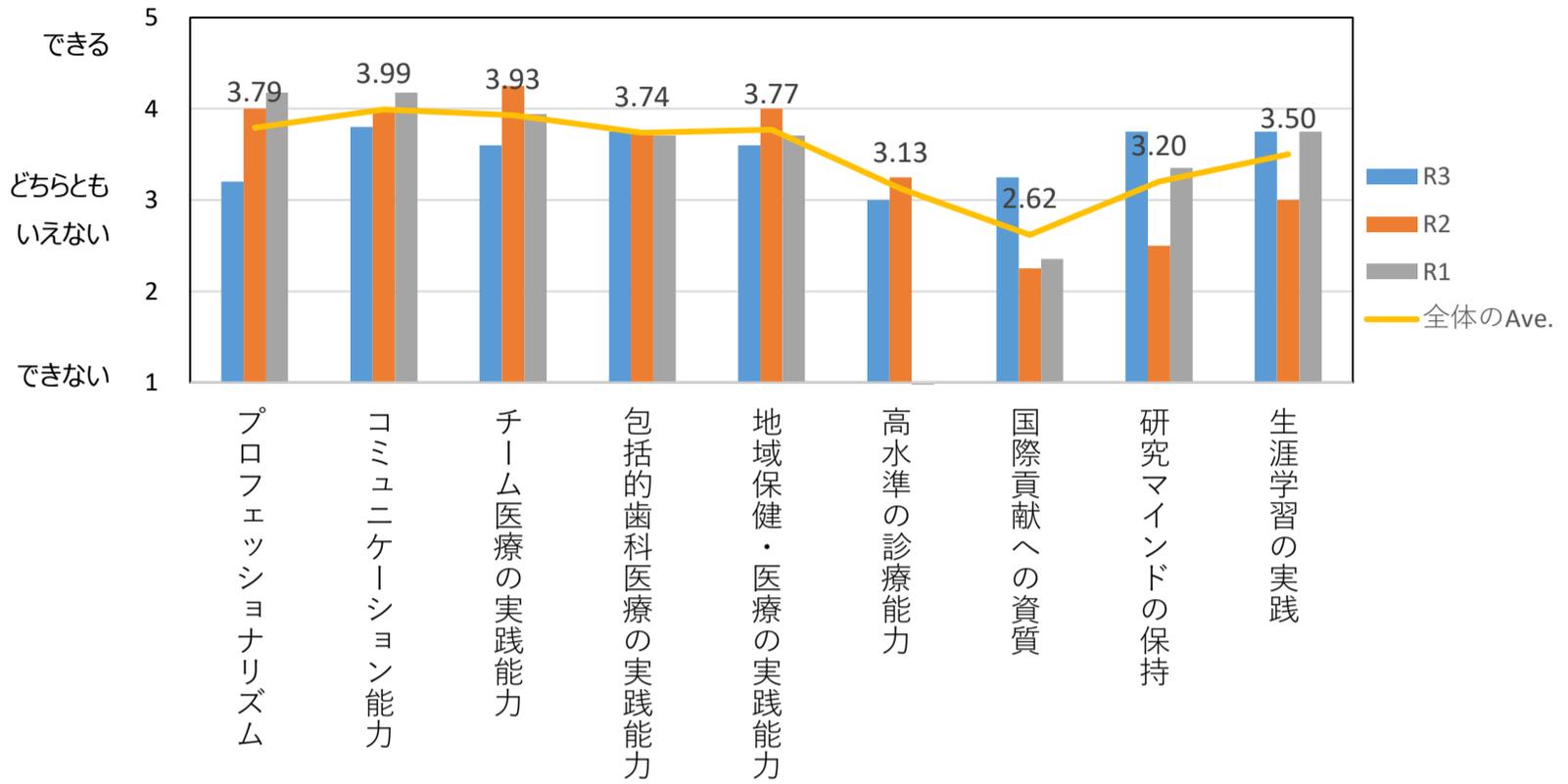
Q2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



その他： 臨床的な機材の使用方法等の指導をお願いしたい所存です

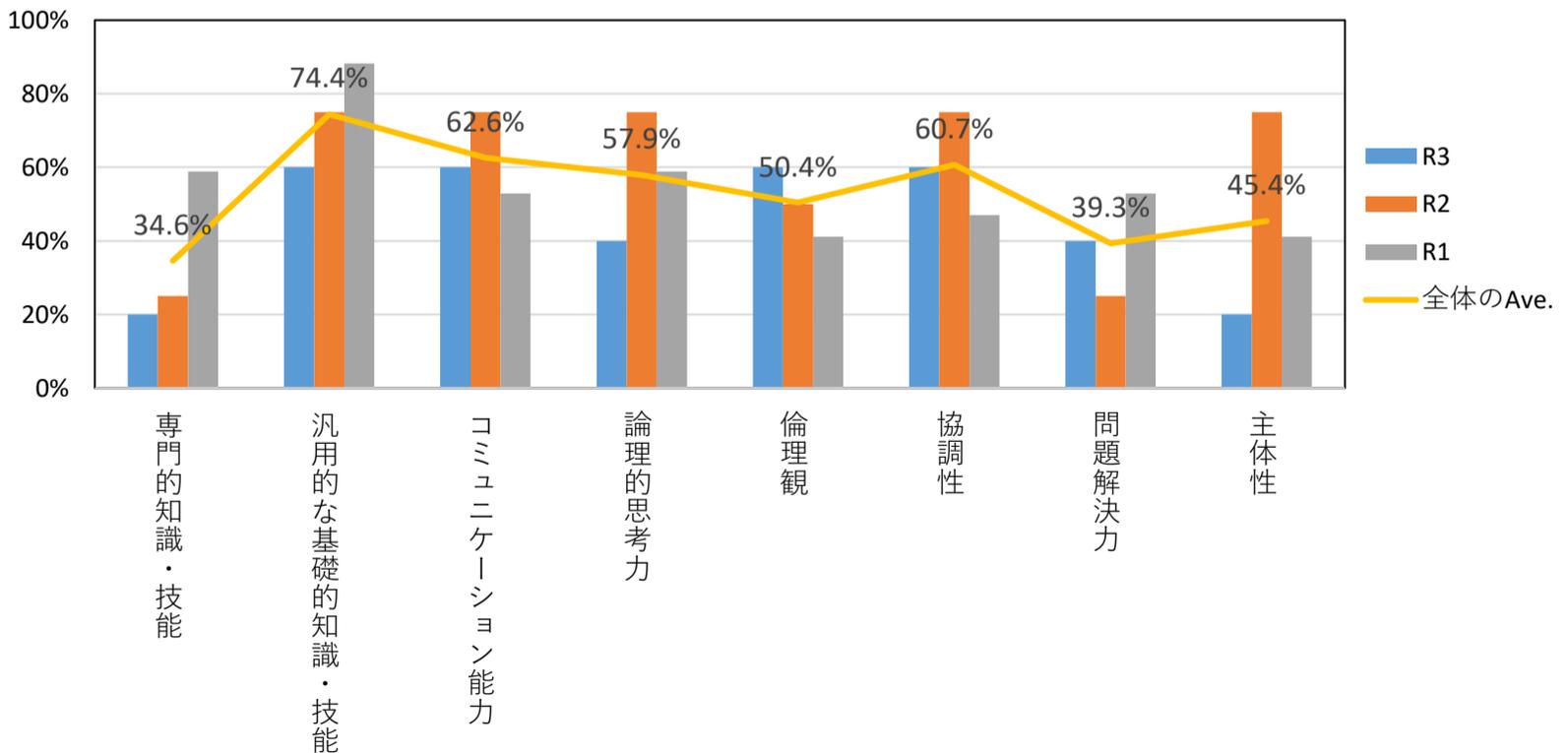
過去3カ年の経年比較（歯学部）

ディプロマ・ポリシー達成度に対する評価



- 「国際貢献への資質」「高水準の診療能力」のスコアは比較的低い。
- 他学部と比較して研修先が少なく、回答数が少ないことは考慮する必要がある。

本学の教育に求める内容



- 「汎用的な基礎的知識・技能」に対する要望が最も高く、次いで「コミュニケーション能力」「協調性」などが続く。
- 専門的知識・技能に対する要望は少なく、卒業時点でのレベルは比較的満足されていると考えられる。